

# 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長多田勉議員、副委員長照井文雄議員）は、条例6件、予算2件、その他11件について付託を受け、審議を行いました。  
その結果、全19議案を原案のとおり可決・承認しました。

## 子育てするなら遠野 第2ステージへ

**問** わらすっこ条例の一部を改正する理由は。

**答** 市民それぞれの役割の中で、子どもの健全やかな成長を願う見守りについて根拠となる理念条例。制定から10年が経過し、子どもを取り巻く環境の変化に合わせて改正する。新たな条例・プラン・基金の3本柱で取り組む。

**問** 子育て家庭への支援を「きめ細かな支援」と条文変更した。また「事故や災害等の未然防止と子どもの安全確保の努力義務」も条文に盛り込んだ。プランの中で、具体的な施策、対応に取り組みたい。

**答** 子育て家庭への支援を「きめ細かな支援」と条文変更した。また「事故や災害等の未然防止と子どもの安全確保の努力義務」も条文に盛り込んだ。プランの中で、具体的な施策、対応に取り組みたい。

## 保護という視点も大事では。

**問** 子どもの権利や大人の責務について、子ども達自身が内容を知らなければならない。

**答** 学校と連携しながら、人権擁護委員による人権教室を開催して、子ども達が、自分たちの命、他の人の命を守るという理念を達成するために人権教育は大事だと考えている。



今年10年目を迎えた遠野市わらすっこ条例。市内の代表児童生徒が未来の遠野市を語り合います

## 市営牧野 放牧頭数の確保策は

**問** 市営牧野管理事業費（573万5千円）の増額の内容は。

**答** 3つの牧場の指定管理料の増である。利用料と経費の差額不足分である。

**問** この補正額は、3月定例会で否決となった。

**答** 生産者との懇談の場を設け、今後の放牧料金の在り方や牧野管理、サービス向上について話し合っていく。

## 里山放牧を活かして

**問** 里山放牧を活かしていくことやキャトルセンター等の自主事業によって畜産振興公社経営を改善することはできないか。

**答** 今年度から牛の検診は、生産者の負担軽減を考慮して関係者のみでおこなっている。さらに、牧野管理の向上に努めていく。

## 小中学校のエアコン 工事費が増額

**問** 倍近い工事金額になる理由は。

**答** 当初の予算は、文科省が基準として示した機種で計算したものであった。改めて遠野の気候や各学校施設に考慮し熱負荷などを計算したところ、暖房能力の不足が判明した。それに伴い、電気設備増設が必要となり3月当初と大幅に差額が生じる見込みとなった。

**問** 今後の予定は。

**答** 平成30年度繰越分は、本年度3月中旬までの工期で発注済み。今補正予算分は、早急

## こども本の森構想

に諸手続きを踏みたい。令和2年6月末までに設置工事を終え、市内全小中学校の環境が整えられるよう準備をすすめたい。

市は、11月19日の議員全員協議会において、建築家安藤忠雄氏からの提案を受け、「まちなかの古民家」を活用した「こども本の森施設」整備実現に向け、「こども本の森構想検討委員会」を設置する方針を固めたと報告した。

## 建設に係る費用

**問** 建設に係る費用は。

**答** 安藤忠雄建築事務所がほぼ全額を負担することになっている。解体した後、使える部材で昔ながらの雰囲気壊さない形で建て替える。

## 旧三田屋を選んだ理由

**問** 旧三田屋を選んだ理由は。

**答** 複数の候補地から安藤忠雄氏が旧三田屋を希望した。



旧三田屋を視察する安藤氏



**問** 昨年11月に住民説明会を開催し地元住民も喜んでいる。また、プロジェクトに携わった方々にも「こども本の森構想」が、これまで進められてきた旧三田屋プロジェクトの方向性と同じことを確認いただき、理解を得ている。

**問** 今後の取り組みは。

**答** 近隣の被災市町村にも協力を要請していく。利用方法、運営方法などを検討し、実現させたい。